

No.	計画及び条例等の名称	計画及び条例等の内容（特に必要と認め市民参画を実施する場合はその理由）	重要	除外	除外する理由 （重要なものに該当しない理由）
1	（仮称）第2次花巻市まちづくり総合計画（長期ビジョン）	【目的】 本市の地域特性や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能な市政を運営するため、長期的視点に立った市政運営の指針となる総合的かつ計画的な総合計画を策定 【内容】 将来都市像、まちづくりの基本理念、将来都市像の実現に向けた政策・施策、6つの分野の柱、人口見通し・財政指標・土地利用の基本方向及び重点施策推進プロジェクト（優先的プロジェクト等） 【区分】 基本構想 【計画期間】 令和6年度～令和13年度 【関係法令】 花巻市まちづくり基本条例	ア 計画		
2					
3					
4					

- 記入方法
- 1 計画及び条例等の名称の欄には、重要な対象に該当するしないに関わらず、策定、制定を予定する計画、条例等を記入してください。
- 2 計画及び条例等の内容の欄には、何に基づき策定、制定するものなのか、内容は基本的な事項を定めるものなのか、具体的な事務事業を定めるものなのかを含め、具体的かつ詳細に記入してください。また、特に必要と認め、市民参画を実施する場合はその理由も記入してください。
- 3 重要の欄には、重要なものとして参画の対象に該当する項目をドロップダウンリストから選択し入力してください。なお、重要なものに該当しない場合は対象外を選択してください。
- 4 除外の欄には、対象から除外できるものに該当する項目をドロップダウンリストから選択し入力してください。なお、重要の欄で対象外を選択した場合には、この欄は空欄となります。
- 5 除外する理由の欄には、除外の欄で選択した項目に該当する理由を詳細に記入してください。また、重要の欄で、対象外を選択した場合は、その理由を記入願います。この場合、内容の欄に明らかに対象に該当しないことが判断できる内容（計画等の位置づけなど）が記入されているかを確認願います。
- 6 欄が不足する場合はページを追加して記入願います。内容や除外理由欄の記入スペースが不足する場合は行を追加して記入願います。

1 参画の対象

対象の名称	（仮称）第2次花巻市まちづくり総合計画（長期ビジョン）	対象区分	市の基本構想、基本計画その他の基本的な事項を定める計画の策定又は変更
対象の内容	【目的】本市の地域特性や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能な市政を運営するため、長期的視点に立った市政運営の指針となる総合的かつ計画的な総合計画を策定 【内容】将来都市像、まちづくりの基本理念、将来都市像の実現に向けた政策・施策、6つの分野の柱、人口見通し・財政指標・土地利用の基本方向及び重点施策推進プロジェクト 【区分】基本構想 【計画期間】令和6年度～令和13年度		

2 選択した市民参画の方法

方法①	意向調査の実施
名 称	市民アンケート調査
時 期 及 び 回 数	令和4年6月上旬～7月上旬 1回
周知方法 及び 周知時期	広報はなまき令和4年6月1日号に掲載するとともに、市ホームページ、SNS、FMはなまき、有線放送により周知する。対象者には令和4年6月にアンケートを郵送により通知する。（回答は郵送又はインターネットによるもの）
対象者 （対象 地域）	市内全域の18歳以上の市民から無作為抽出により2,500人程度を予定
結果公表 の方法 及び時期	市ホームページに掲載する。（令和4年9月）
方 法や 時 期を 選択した 理由	市民の意見を幅広く聞き取ることができ、市民目線による各分野の現状と課題等を把握することが可能となる方法であることから選択した。アンケート結果を素案作成に反映させるため上記の時期を選択した。

方法②	ワークショップの実施
名 称	まちづくり市民ワークショップ
時 期 及 び 回 数	令和4年7月中旬～令和5年2月上旬 ・一般部門（23歳以上の市民）：7回程度 ・若者部門（高校生以上22歳までの市民）：3回程度
周知方法 及び 周知時期	広報はなまき令和4年6月1日号に掲載するとともに、市ホームページ、SNS、FMはなまき、有線放送により周知する。 ワークショップの開催については、開催日の2週間以上前に郵送により通知する。（令和4年6月上旬）
対象者 （対象 地域）	・一般部門は、各種団体等からの推薦者（20人程度）及び市内全域の23歳以上の市民から無作為抽出する400人程度のうち応募のあった20人程度 ・若者部門は、市内各高校からの推薦者（18人程度）及び22歳までの市民の公募により応募のあった6人程度
結果公表 の方法 及び時期	市ホームページに掲載する。（令和5年3月）
方 法や 時 期を 選択した 理由	計画策定段階から市民が参画し、まちづくりについて主体的に関わることができる手法であるため選択した。また、一般部門に加え、若者部門を別で開催し、若者の視点によるまちづくりに対する意見等を集約する場を設けることとした。

方法③	その他適切と判断される方法
名 称	関係団体等意見聴取
時 期 及び 回 数	令和4年10月から12月まで、10団体程度との開催。
周知方法 及び 周知時期	開催日の2週間以上前に郵送により通知する。
対象者 (対象 地域)	市内の農業、商工業、観光業、福祉関係団体、子育て支援団体等
結果公表 の方法 及び時期	市ホームページに掲載する。(令和5年2月)
方 法や 時 期を 選択した 理由	各種関係団体より専門的な意見を聴くことができるため選択した。意見聴取結果を素案作成に反映させるため上記の時期を選択した。

方法④	意見交換会の開催
名 称	地域説明会
時 期 及び 回 数	令和5年6月、計4回
周知方法 及び 周知時期	広報はなまき令和5年5月15日号に掲載するとともに、市ホームページ、SNS、FMはなまき、有線放送により周知する。
対象者 (対象 地域)	全市民
結果公表 の方法 及び時期	市ホームページに掲載する。(令和5年8月頃)
方 法や 時 期を 選択した 理由	多くの市民が意見を述べやすい方法として選択。また、素案の調整期間を考慮して予定時期を設定するもの。

方法⑤	パブリックコメントの実施
名 称	第2次花巻市まちづくり総合計画（素案）パブリックコメント
時 期 及び 回 数	令和5年6月中旬～7月上旬（1か月間）
周知方法 及び 周知時期	広報はなまき令和5年6月1日号に掲載するとともに、市ホームページ、SNS、FMはなまき、有線放送により周知する。素案については、総合政策部秘書政策課、総務課、各総合支所地域振興課、まなび学園、各振興センター、各保健センター、各市立図書館に備え付ける。
対象者 （対象 地域）	全市民を対象
結果公表 の方法 及び時期	市ホームページに掲載する。（令和5年9月）
方 法や 時 期を 選択した 理由	多くの市民が意見を述べやすい方法として選択。 時期については、パブリックコメント後の意見集約及び市民からの意見を計画へ反映させるための十分な検討期間を考慮し、選択した。

方法⑥	審議会その他の附属機関における委員の公募
名 称	花巻市地域自治推進委員会・各地域協議会への諮問
時 期 及び 回 数	令和5年7月 4回（花巻市地域自治推進委員会、大迫地域協議会、石鳥谷地域協議会、東和地域協議会）
周知方法 及び 周知時期	開催日の2週間以上前に郵送により通知する。
対象者 （対象 地域）	公共的団体から推薦された者、学識経験を有する者、公募による者 花巻市地域自治推進委員会（15人）、大迫地域協議会（15人）、石鳥谷地域協議会（15人）、東和地域協議会（14人）
結果公表 の方法 及び時期	市ホームページの自治推進委員会及び各地域協議会の開催結果をもって公表とする。 （令和5年8月）
方 法や 時 期を 選択した 理由	花巻市地域自治推進委員会条例第2条及び花巻市地域自治区設置条例第8条第2項の規定により、地域自治推進委員会への意見聴取及び地域協議会への諮問が必要であることから、総合計画に関し意見又は諮問に対する答申を計画に反映させるため、上記の時期を選択した。

3 計画・条例等の全体スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
R4		●	●	●		意見集約、計画骨子・素案作成							●	●
		策定方針案説明（議会・各種審議会）		策定方針決定									計画骨子説明（議会・各種審議会）	
R5		●	●	●	●	●	●	●						
		素案作成		素案説明	案作成	案説明	長期ビジョン議決							
方法①		●	●	●	●	●	●	●						
		対象者抽出・設問検討		アンケート発送、回答		集計・分析	結果の公表							
方法②		●	●	●	●	●	●	●				●	●	●
		対象者抽出		メンバー推薦依頼 意向確認、委嘱手続			ワークショップ（一般部門7回、若者部門3回 計10回）					意見集約	結果の公表	
方法③				●	●	●	●	●			●	●	●	
				開催通知			意見聴取（10団体）			意見集約	結果の公表			
方法④			●	●	●	●	●	●						
			広報・HP掲載	説明会×4か所		結果の公表								
方法⑤			●	●	●	●	●	●						
			広報・HP掲載	パブリックコメント実施	意見整理	結果の公表								
方法⑥			●	●	●	●	●	●						
			開催通知	諮問・意見聴取	答申	結果の公表								

【参考】

方法①	内 訳	実施コスト計	4,169,000 円
参画実施コスト	調査委託費3,850,000円（7,700千円×1/2）＋郵送料294,000円＋用紙代12,500円＋印刷代12,500円＝4,169,000円		

【参考】

方法②	内 訳	実施コスト計	4,606,800 円
参画実施コスト	運営委託費3,850,000円（7,700千円×1/2）＋謝礼704,000円（一般の部560,000円[2,000円×40人×7回]＋若者の部144,000円[2,000円×24名×3回]）＋食糧費（お茶）52,800円（150円×352本）＝4,606,800円		

方法③	内 訳	実施コスト計	202,000 円
参画実施コスト	謝礼200,000円（2,000円×10団体×10名） 用紙代1,000枚＝1,000円 印刷費 総ページ1,000@1＝1,000円		

方法④	内 訳	実施コスト計	3,200 円
参画実施コスト	用紙代1,600枚（20名出席×4回×資料20ページ）＝1,600円 印刷費総ページ1,600@1＝1,600円		

方法⑤	内 訳	実施コスト計	6,000 円
参画実施コスト	用紙代3,000枚（13か所×2部×余部4×100ページ）＝3,000円 印刷費総ページ3,000@1＝3,000円		

方法⑥	内 訳	実施コスト計	14,000 円
参画実施コスト	用紙代7,000枚（4か所×15名×余部10×100ページ）＝7,000円 印刷費総ページ7,000@1＝7,000円		

記入方法

- 1 対象の名称及び対象の内容を計画条例等一覧（様式第1号）より転記するとともに、対象区分をドロップダウンリストより選択してください。
- 2 方法をドロップダウンリストより選択するとともに、名称を記入してください。【例：方法① 意向調査の実施 名称 市民アンケート 等】
- 3 周知方法及び時期について、意向調査を除き、広報紙及びホームページ、SNSでの周知を基本としておりますので、この三つの方法は特別な理由がない限り記入されることとなります。
- 4 コストについて、市民参画の実施準備から結果公表までに想定されるコストを記入してください。（コストはあくまでも参考であり評価の対象ではありません）

おおむね、次の経費が想定されます。（人件費は職員以外の人件費がある場合は記入する）

- 1 市民参画準備（人件費、資料用紙代、資料印刷費、郵便料など）
 - 2 市民参画実施（人件費、報酬、謝礼、会場借上料、消耗品など）
 - 3 結果整理・公表（人件費、集計委託料、結果を備え置く場合の印刷費や用紙代など）
- 1＋2＋3＝実施コスト計

※コスト計算の際の単価は以下のとおりとし、これ以外の経費については実費で計算してください。

- ・印刷費 コピー機 @5円 印刷機 @1円
- ・用紙代（色上質紙等の特殊なものを除く）@1円

- 5 計画・条例等の全体スケジュールの欄は、計画等策定までの全体の流れと、市民参画方法の実施の流れを記入してください。なお、月については必要に応じて変更してください。